

「秋田県能代市」

「みなとまち」能代の個性は、「バスケ」そして「風」でしょうね。

【バスケの街】

「秋田県能代市ですが」と言ってもピンと来ない、「バスケの能代市ですが」と言うと、すぐに分かってもらえる我が街「能代」。そのバスケの一大イベント、「能代カップ」がもうすぐ開催される。昭和63年に第1回大会を開催以来今年で16回を数える本大会。5月のゴールデンウィークには全国各地から選抜された強豪5チームに、地元能代工業高校を加えた総当たりリーグ戦が行われる。まさにインターハイの前哨戦と言えよう。超満員のバスケファンが食い入るように見つめる中、スーパープレーの連続と一進一退の攻防に観衆が一体となり歓喜の声が。ここ「バスケの街能代」から明日の日本を代表するプレイヤーが羽ばたこうとしている姿は必見の価値大いにあり。

今年の参加チームは、関東から霞ヶ浦、東海から愛知産大工、中国から広島商の各地区優勝校、そして北信越からはライバル北陸と今季1勝1敗の新潟商、それに国体開催県の静岡県選抜の5チームに地元能代工業が加わるといって、超豪華な顔ぶれ。是非ご来能あれ。



【風が強いんですよ】

能代には「風の松原」という海岸砂防林がある。その面積はというと約760ヘクタール、東京ドーム190個分に相当し、その総延長は14キロメートルに渡る。約700万本の黒松林が帯のように市街地を強風から守っている。

今から約300年前、当時強い西風が吹けば砂が吹雪のように舞い上がり、田畑を埋め、人家を没したという。以来、幾多の人々による砂防のための植林事業が行われ、今日の「風の松原」が出来上がった。そして今、市民の憩いの場として親しまれている。このように風の強い能代であるが意外と台風の影響は皆無に等しい。



そうそう、最近矢継早に風力発電所建設計画が押し寄せる。これまでに海岸線に沿って26基の風車が林立し、その稼働率、利用率ともに上々のようだ。この他にも数社の建設申し出や問合せがあるなど、今に風車のメッカになる可能性も大いにある。これも個性の1つか？

「山形県鶴岡市」

〈 映画で にぎわい 〉

名峰月山を擁する出羽三山を仰ぎ日本海を望む庄内地方の中心に位置する鶴岡市は、江戸時代初期、庄内地区海路流通の一大門戸である加茂港を有する庄内藩14万石の城下町として栄えた歴史あるまちで、藤沢周平・原作/山田洋次・監督の映画「たそがれ清兵衛」の舞台となった話題でがんです。

〈 歴史・文化で にぎわい 〉

加茂港は、山形県海岸線のほぼ中央に位置し、南端の荒崎、北端の立岩崎に囲まれた摺鉢型の良港で昭和27年に地方港湾に指定されています。

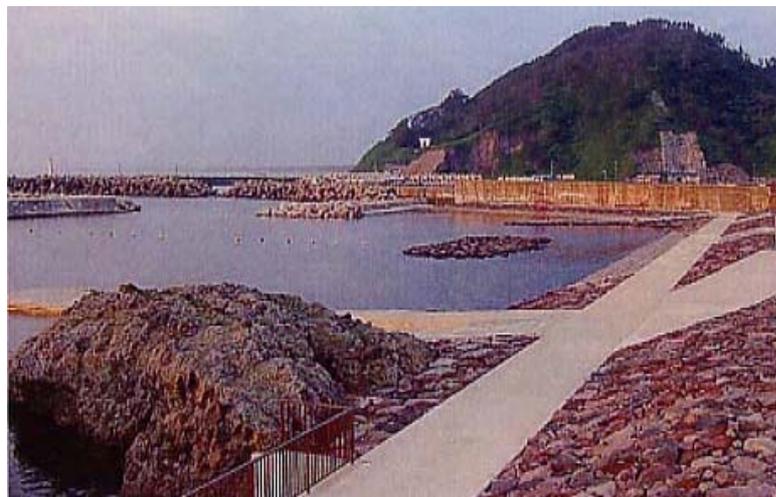
加茂は、江戸期には、北前船の寄港地として古くから港湾を中心として栄えた土地です。

現在は、一時期ほどの活況を呈していないが、教育、海洋研究等水産関係の集積は高く、海、山で代表される豊かな自然及び庄内竿、磯釣りの伝統など地域に根ざした文化が高い地域です。

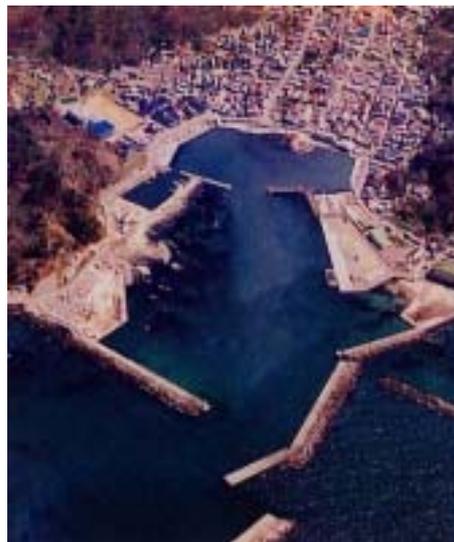
〈 人工海浜で にぎわい 〉

近年、庄内空港の開港や東北横断自動車道の供用など広域高速交通体系が整備されていることから加茂地域の新たな海辺のまちづくりを展開する時期を迎えています。

こうした中、平成8年度から第6次海岸整備計画では新たに加茂水産高校に隣接する海岸線に自然の岩場を生かした人工海浜と遊歩道が計画され、地域の社会教育活動や海洋性レクリエーション及びマリンスポーツの場として活用を図るため海岸環境整備事業に着手、平成9年度には「いきいき・海の子・浜づくり」事業の指定を受け、平成14年7月には人工海浜が完成しました。「加茂レインボービーチ」と名づけられ、早くも海水浴の人気スポットになっています。



平成14年7月に完成した加茂レインボービーチ



当人工海浜は、生態系にやさしい浜づくりを整備方針として整備していることから海洋生物が数多く生息しており、海水浴だけではなく海の学習・教育研究機能を兼ね備えています。

近くには、鶴岡市立加茂水族館、山形県立加茂水産高校、山形県水産試験場、山形県漁協の加茂支所など海に関連する諸施設機能が集積されており、今後のまちづくりの核となる施設として活用が期待されています。

〈イベント・水産物で にぎわい〉

豊かな海にし、水産物を振興するために、県漁協や栽培漁業センター等と連携し、アワビやヒラメ、クルマエビの放流事業などを実施するほか、加茂港大漁フェスティバルといった地域が主体となったイベントも行われておりますが、漁業のほかにも、海洋レクリエーション機能ですとか、海の学習・教育研究機能などを持った、地域特性の高い地区でありますので、港湾を中心とした、そういった総合的な機能を、連携して高めることによって、また、複合的なイベントの実施等によって、交流人口の増加を促進し、地域の活性化に結びつくものと期待しております。

地元が主体となったイベント

「加茂港大漁フェスティバル」



加茂レインボービーチ
にて行われた
【貝のつかみどり】



加茂港にて行われた
【大漁旗漁船の試乗】

編集・問い合わせ先

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク事務局
国土交通省 東北地方整備局 港湾空港部 港湾計画課
調査担当 山内、高橋
TEL.022-716-0005 FAX.022-716-0017
e-mail:yamauchi-n82ab@pa.thr.mlit.go.jp
takahashi-j82ah@pa.thr.mlit.go.jp